

つなぎあつて元気に

25

2010 夏号

平山光子後援会

事務所

大牟田市原山町1-5
0944-53-1661

自宅

大牟田市倉永1651
0944-58-1252

メールアドレス

mitsuko2007@tng.bbq.jp

ホームページ

www.mitsuko-hirayama.net

移転しています



市議団も総踊りに参加 7月25日



「子どもの村福岡」視察 8月5日
今年4月オープンした「子どもの村福岡」は、家族と暮らせない子どもたちのために育親を中心に新しい家族をつくり、地域住民として自立するまで育てていく施設です。SOSキンダーランド「すべての子どもに愛ある家庭を」の理念のもとに始まった日本初の新しい社会的養護の試みということです。

残暑御見舞い申しあげます
大牟田市に、活気がよみがえる夏祭り「大蛇山」、ちびっこ大蛇みこしも登場し、今年も大いに盛り上がりました。そして、子どもたちが楽しみにしていた夏休みも早くも半分が過ぎ、そろそろ宿題の残りが気になってくる時期ですね。しかし、連日のうだるような酷暑は、まだまだ続き記録を更新しそうです。どうぞお身体ご自愛ください



平和行進 7月20日

核兵器の廃絶と平和な世界の実現を願い、参加の皆さんと共に大牟田市役所からスタートしました。

5月14日に沖縄を出発したたすきが、大牟田からみやま、柳川、佐賀の各地を経て、長崎、原水爆禁止世界大会の会場までつながり届けられます。



原水爆禁止世界大会・長崎大会 8月8日～9日

～ノーマア・ヒバクシャ、ノーマア・ウオー～

大牟田から子ども達を含め総勢37名の参加でした。

平和記念式典に初めて核保有国の代表が出席するなど、核廃絶への期待が広がっています。原水爆禁止世界大会・長崎大会では、「核と人類は共存できない」こと、殺りくが繰り返される世界を変え、対話と共存を基本にした「核も戦争もない21世紀」を実現し、子どもたちに贈る取り組みを全力で進めることが宣言されました。





6 月議会 一般質問報告

1. 国民健康保険税の値上げ案について

今議会で、国民健康保険税の値上げが提案されました。生活が苦しい被保険者世帯が多くを占め、今でも高い国保の保険料をさらに値上げすることは、被保険者の生活をさらに追い込み健康にも影響するとして市長の見解を尋ねました。国民皆保険制度の維持は重要です。しかし、制度の改正によって支援額が減り国保会計が赤字になったことを考えると、保険料の値上げは極力さけ、社会保障として国・県にしっかりと支援を求め、健康づくり施策などを充実して医療費の削減を図るべきではないかとして当局の見解を尋ね、努力するとの答弁を得ました。市民が元気になるような施策、全庁的に取り組んでほしいと思います。

2. 少子化の進行と活力ある社会の再生について

(1) 男女共同参画社会の形成

先進諸国では、子育て支援や男性の家事・育児参画が進んで女性労働力率を上昇させながら出生率も回復しています。少子化の問題からも、男女共同参画社会への取り組みは国の喫緊の課題とされています。条例にも定められていますが、市も学校も職員の研修を深め、市全体の意識啓発を積極的に進めるよう求めました。他市では殆どの学校で実施されている出席簿などの混合名簿の取り組みが、本市では全く進んでいません。教育委員会は学校判断としていますが、リーダーシップを発揮し進める必要があるのではないのでしょうか。

(2) 若い世代の雇用・自立支援

非婚化・少子化の要因でもある「若年無業者」や不安定就労の増加など、社会の支え手としても重要な役割を担う若者が安心して生活を送れない状況は、社会全体の基盤を揺るがすことになりかねません。国もやっと法律を作って支援体制づくりを始めました。市民に一番身近な基礎自治体である市としても、早急に実態を把握し、先進地域の取り組みに学びながら、支援体制を整えていくよう求めました。

3. 教育環境の充実について

今年度、小学校の35人以下学級が1・2年生から3年生までに拡大されました。長年、各方面から要望されていた少人数学級がやっと一歩前進しました。しかし、たくさんの課題を抱えた学校の現状を考えると、早期に4年生以上や中学校にも、少人数学級や少人数指導を拡大する必要があるとして教育委員会の見解を尋ねました。



ホームページを移転し、更新しています

新ページ www.mitsuko-hirayama.net

これまでできなかったアップロードまで自分ができるようになり、こまめに更新しています。光子の部屋のページにはたくさんの写真もアップしています。ぜひ、ご覧ください。